

いつもお世話になっております。ファクスお借りして恐縮です。ご発注よろしくお願いたします。
書肆心水 FAX 03-6677-0682

第二次欧洲大戦 前史と緒戦

外交・思潮・人物像

清沢冽 著

『暗黒日記』で広く知られる戦前のリベラリスト清沢冽

第二次世界大戦の震源ヨーロッパ、開戦前後の空気を伝える批評

開戦当時何が知られ、何が知られていなかったか。戦前におけるリベラリストの代表格とされる清沢は何に注目したか。「戦争は善と悪との衝突ではない、正義と正義との衝突である」として、ヒトラーに対してさえも公平であろうとした同時代批評。あれのほどの惨禍に至るとはまだ予想されていなかった時期における戦局展望と戦後展望の歴史的証言。

清沢冽（きよさわ・きよし）1890年生、1945年歿。外交評論を中心とするジャーナリスト。十代で渡米し、就学後、邦字新聞記者となる。帰国して1920年中外商業新報に入社。1927年東京朝日新聞に移籍。その論調が右翼勢力の攻撃を受け、1929年退社、フリーランスの評論家となる。対米協調論者として知られ、日中全面戦争や日米戦争に反対する立場に立ち、反軍国主義の姿勢を貫いた。著書に『日本外交史』『暗黒日記』（戦後公刊された戦時中の日記、岩波文庫、ちくま文庫）など多数。

- 第一篇 戦争の前奏と背景**
- 第一 第二次欧洲大戦の勃発
第二 ナチ外交の理論と実際
第三 ヴェルサイユからナチ膨脹まで
第四 ミュンヘン会議前後
第五 チェコ合併から破局まで
- 第二篇 戦争突入以後**
- 第一 開戦直前の裏面外交
第二 戦争の進行と英独の主張
第三 第一次大戦との比較
第四 和平の条件と工作
第五 交戦国の宣伝戦
第六 戦後、世界新秩序の諸案
- 第三篇 中立国の動向**
- 第一 ソ聯の立場
第二 イタリアの立場
第三 米国の立場
第四 バルカンへの波紋
- 第四篇 戦争関係の人物**
- 第一 ヒトラー
第二 チェンバレン
第三 ムソリーニ
第四 ジョセフ・ベック
第五 スターリンとモトローフ
第六 ローズヴェルト

新刊
注文取扱返条付
(清藤)

取次番線印

お名前

部

第二次欧洲大戦 前史と緒戦

外交・思潮・人物像

清沢冽著

ISBN978-4-910213-04-0 C0020

A5判上製 320頁 本体6900円+税

FAX 03-6677-0682 でんわ 03-6677-0101
http://www.shoshi-shinsui.com書肆心水
Shoshi Shinsui

6月末刊

ご注文はJRCへ 03-3294-2177

すべての取次への出荷が可能です。返品は長期にお受け致します。(了解者JRC後藤)